

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	現状、職員の給与については勤続年数・資格等により算出しているがそれがやりがいに繋がっているとは考え難い状況である。	職員がやりがい・向上心を持って仕事に取り組める環境を整備する。	キャリアパス等を作成し職員の意欲向上・個々の能力に見合った給与の算出により、職員がやりがいを持って取り組めるようにする。	6ヶ月
2	34	入居者様の急変時は医療機関と連携し早急の対応を行っていると思えるが、現状救急や医療のにつなげる前に施設で行っている事に限界を感じている。	職員1人1人が救命処置が的確にでき入居者様の急変時に対応できる環境にする。	外部での救命講習受講やAED設置による施設の環境整備。	12ヶ月
3	21	入居者様同士の交流は個々のユニット内では行えているが、施設全体としてはあまり行えていないのが現状です。	ユニットの枠を越えて入居者様同士が交流し生活出来る施設作り。	個々ユニットで行っている行事はもとより施設としての行事の回数を増やし入居者様同士の交流の場・機会を増やす。	6ヶ月
4	35	災害については現状、社内・施設内で対策について検討・協議はできているが地域における施設としての役割については出来ていないと思われる。	地域に少しでも貢献できるように施設整備に取り組む。	災害時の避難場所として防災用品・食料の備蓄、避難場所として地域に貢献できるよう市・区と協議していく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。